

# 編集後記

三浦瑛美(編集長)

アンケートや取材で走り回り、さらに探検部の皆さんと壁を登り…。いつも以上に体を張った号になりました(笑)それでも取材は楽しい!ご協力頂いた皆さん、ありがとうございました!

【学生編集スタッフ】 江尻 晴菜(人文学部2年) 石山 翔子(理学部2年) 竹石 惇樹(医学部2年) 花溪 拓也(教育学部3年) 三浦 瑛美(人文学部3年) 高野 美穂(法学部3年) 山口 詢子(法学部3年) 佐藤 俊樹(工学部4年) 佐藤 優樹(工学部4年)

【職員スタッフ】 村山 佳菜絵(学生支援課) 斎藤 真紀(学生支援課) 横尾 一真(広報室)

竹石 惇樹(2年スタッフ)

オープンキャンパスにお越しの皆さん。新大広報184号には新大生のリアルが凝縮されています。ぜひじっくり読んでみてください!

花溪 拓也(3年スタッフ)

後輩たちへの仕事の引き継ぎが順調で、勉強が忙しくてなかなか手伝えない時も安心して任せられるようになりました。スタッフ3年目。引き続きがんばります!

佐藤 俊樹(4年スタッフ)

ひとりdeliに初参加しました。正直、料理は苦手です。しかもまさか表紙にも載るなんて…。オープンキャンパス号ということで、大学生だけではなく高校生にも見られるのでちょっと有名人になった気分です(笑)



## 私たちと一緒に新大広報を作っていきますか!?

### スタッフ募集!!



新大広報では現在、学生編集スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

写真を撮りたい!

企画や取材をしたい!

記事を書いてみたい!

そんなことを考えているあなた!ぜひ、私たちと一緒に新大の魅力を伝えていきましょう!

応募方法

下記のQRコードから新大広報携帯HPへアクセスし、HP内のメールフォームより①学部・学年・学籍番号・氏名、②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

## お便り募集



### 学生スタッフが取材に行きます!

大学に関する疑問、特集して欲しいサークルや部活、新大キャンパス内で撮ったあなたのベストショットなどなど…。あなたの投稿を新大広報が記事にさせていただきます! お便り、投稿をお待ちしております。

(注)\*新大生が関わっているイベント、団体に限ります。\*新大広報は年4回の発行であるため、取材時期と発行時期は異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

投稿方法

お手持ちの携帯電話で右記のQRコードを読み取ると、新大広報携帯HPへアクセスできます。新大広報に関するご意見・ご感想もこちらからどうぞ。皆さんからのメッセージをお待ちしています。



QRコードが読み取れない場合や、パソコンからの投稿はこちらから

[http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/mobile/shindai_kouhou.html)

個人情報の取り扱いについて 新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。アンケートや紙面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことにより、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。 ※QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

【新大広報 Back Number】

[http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100\\_pamph/shindai\\_kouhou.html](http://www.niigata-u.ac.jp/profile1/100_pamph/shindai_kouhou.html)

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見ることもできます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

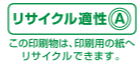
新潟大学ホームページ

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

2012年夏号 [No.184]

編集・発行 / 『新大広報』学生編集スタッフ  
新潟大学学務部・新潟大学広報センター

印刷 / 株式会社第一印刷所



# カバンの中身拝見! 新大生まるわかり特集

# 新大広報

2012年夏号  
No.184

新潟大学

特集

## 徹底リサーチ! 新大生のリアル

新大図鑑

学科のもっと知りたい そこんトコロ!

チャレポ!! (Challenge&Report)

ひとりdeli

新大広報 編集室便り



## Let's enjoy Campus life !!



# 徹底リサーチ! 新大生のリアル

「授業でラジオ番組を作って実際に流してもらったこと」

「新大祭常任委員会で、新大祭を運営したこと!!」

「色々な人と関わったこと」

「夏恒例の『統コン』」

「他学部の学生や留学生との交流」

## Q1

「部活の仲間と練習や遠征で絆を深めること」

「勉強! 大学での勉強は魅力的!」

大学に入って一番楽しかったこと、やりがいのあったことは何ですか?

「海外旅行」

「一人暮らしで、自分の時間が多く持てる」

「高校では出来ない専門の実習」

「とにかく自由!

やりたいこと何でもできる」

「ラクロス部で汗水たらして勝利に向かって突き進んでいること!!」

新大生って普段なにを考えているの? なにを楽しんでいるの?  
今回の特集は、学部・学年・性別を超えてさまざまな学生に、自分なりの大学生活の楽しみ方と新潟大学の魅力について聞いてきました!  
1万人を超える学生がいると、その考え方や普段の日常はさまざま。  
みんなの意見を参考に、これからの大学生活を自分なりにアレンジしてみましょう!



「学部の多さと規模の大きさ」

「良い教授が多い」

「海が近い」

「イケメン、イケジョがいっぱい!」

## Q2

「総合大学だからさまざまな学部の人と関われる」

「留学生と交流できる」

新潟大学のここが好き!  
ここがすごい! ここが楽しい!

「好きなことをとことん追求できる」

「アパートが近いから遊ぶときにみんなで集まりやすいところ。一つの町みたい。」

「緑が多い」

「トイレがきれい」

「一食前広場のベンチがおしゃれ」



大学生活の良さはやはり「自由」であること! みなさん勉強や部活など、さまざまな目標と楽しみをもって過ごしているようです。写真の笑顔からも充実した学生生活が伺えます。また、総合大学ならではの多くの人との交流はもちろん、自然に囲まれていることも新潟大学の魅力の一つですね!

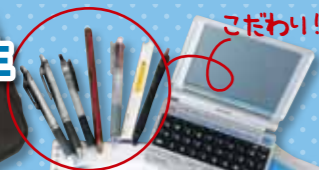


# 勉強を頑張る学生

## Ryosuke TSUSHIMA

●出身/秋田県 ●趣味/映画鑑賞 ●将来の夢/食品関係の仕事につくこと

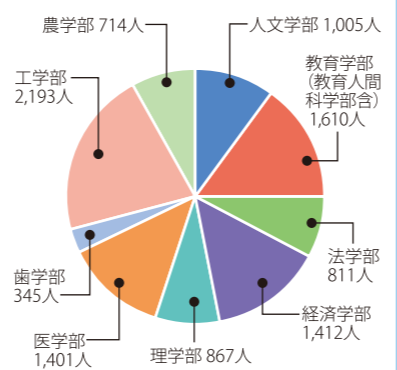
学部生のときに学んだ知識を活かし大学院で研究に打ち込んでいる対馬さん。現在はコシヒカリについての研究をしており、テキストは欠かせません。また、通学中に新聞を読むことが日課になっているそうです。こだわりは筆記用具。ペンは速くきれいに書けるものを愛用し、授業はもちろん、先生の小話からもメモを取り知識を吸収しています。ルーズリーフのサイズは、配布されるプリントに合わせてA4だそうです。



大学院  
自然科学研究科  
生命・食料科学専攻1年  
対馬 諒介さん

### DATA (平成24年5月1日現在)

学部生 9学部 合計10,358人



大学院生 7研究科 2,241人

- 教育学研究科...109人
- 現代社会文化研究科...202人
- 自然科学研究科...1,313人
- 技術経営研究科...35人
- 実務法学研究科...69人
- 保健学研究科...88人
- 医歯学総合研究科...425人

# 特集 徹底リサーチ! 新大生のリアル

# ダブルホーム(課外活動)に取り組む学生

## Sayo OHNUKI

●出身/山形県 ●趣味/映画鑑賞 ●将来の夢/公務員になって地元で貢献すること

ダブルホームの活動をしながら充実した毎日を送る大貫さん。カバンの中のハンカチや携帯電話はピンク色で、女の子らしい持ち物がたくさん!授業で使うルーズリーフにはこだわっており、無地のもの。愛用している音楽プレーヤーにはJ-POPや映画のサウンドトラック曲が入っていて、休み時間によく聴いているそうです。



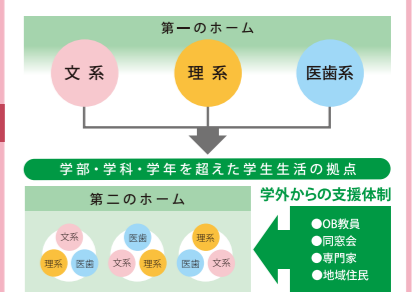
人文学部  
人文学科3年  
大貫 紗代さん

### DATA

「ダブルホーム」は、新潟大学独自の取り組みです!

学生が所属する学部・学科を「第一のホーム」、学部・学科、学年を越えて集まった学生で編成されたチームを「第二のホーム」とします。この第二のホームで、各チームが教員・職員とともに新潟県内や山形県で地域活動を行っています。現在、16のホームが、米作りや祭りへの参加など、地域の方々と連携して様々な活動に取り組んでいます。

●平成24年7月4日現在  
活動人数 学生: 277人 教職員: 81人



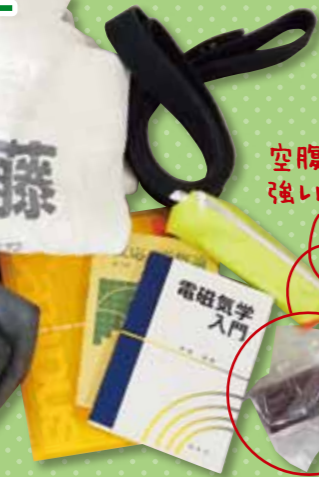
# イマドキの 部活の中から 新大生、実態調査!

# 部活を頑張る学生

## Syuntaro GOTOH

●出身/宮城県 ●趣味/柔道ひとすじ! ●将来の夢/お金持ちになること

部活に打ち込む後藤さんの持ち物は、授業のテキストと筆記用具、所属する柔道部の練習着と、とってもシンプルで「持ち物にはあまりこだわらない」と男らしい一言!部活で体を動かすとお腹が減るのは必然だそうで、この日は友達からもらったチョコレートケーキが入っていました。

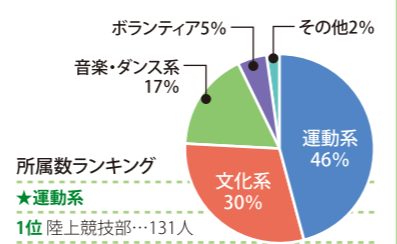


工学部  
化学システム  
工学科2年  
後藤 俊太朗さん

### DATA (平成24年7月1日現在)

新潟大学には109団体の部活・サークルがあり、約4500人の学生が活動しています。

- 運動系...50団体
- 文化系...33団体
- 音楽・ダンス系...19団体
- ボランティア系...5団体
- その他...2団体



- 所属数ランキング
- ★運動系
    - 1位 陸上競技部...131人
    - 2位 弓道部...106人
    - 3位 探検部...93人
    - 3位 LEPT(サッカー)...93人
  - ★文化系
    - 1位 管弦楽団...147人
    - 2位 Music Freak(軽音楽)...146人
    - 3位 MUSE(アカペラ)...124人

カバンの中身から、新大生の実態を大調査!勉強・部活・ダブルホーム(課外活動)にそれぞれ打ち込む学生と、留学生の計4名の持ち物を紹介します。これを読めば、自分の周りの学生がどんな生活をしているかわかるかも!? さらに、それぞれのデータから新潟大学をより知っちゃいましょう!

# 留学生

## Tantan TAI

●出身/中国 ●趣味/バスケットボール ●将来の夢/日本で法律関係の仕事につくこと

肌身離さず持ち歩いている2冊のノートには、日本で生活していて気づいた自分自身の反省点や影響を受けた言葉、アイデアなどがぎっしり。「いつも自分に問いかけて、成長していきたい」と向上心の高さが伝わってきます。寮で一人暮らしのため、食事は主に自炊。家で作ったお茶をペットボトルに入れて持ち歩くなど、節約にも励んでいるそうです。

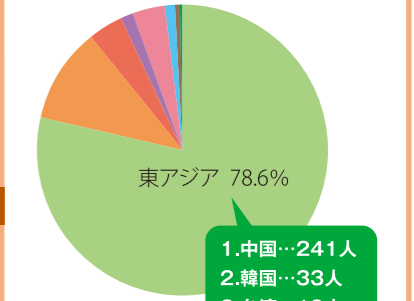


法学部  
法学科3年  
載 丹丹さん

### DATA (平成24年5月1日現在)

新潟大学への留学生は、29の国・地域から383名います。

- 東アジア...78.6%
- 東南アジア...10.6%
- 南アジア...3.9%
- その他アジア...1.3%
- ヨーロッパ...3.6%
- 北米・南米...1.1%
- オセアニア...0.5%
- アフリカ...0.3%



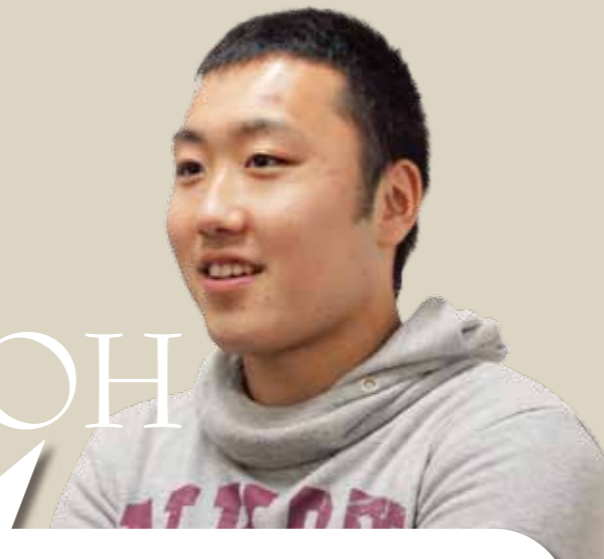
- 1.中国...241人
- 2.韓国...33人
- 3.台湾...19人
- 4.モンゴル...8人

ここからは前のページで紹介した学生のうち、部活に打ち込んでいる後藤さんとダブルホームに取り組んでいる大貫さんの二人にインタビューしました。

部活を頑張る学生

Syuntaro GOTOH

後藤 俊太郎さん



ダブルホーム(課外活動)に  
取り組む学生

Sayo OHNUKI

大貫 紗代さん



Q1 所属している部活動について教えてください。

柔道部に所属しています。高校時代から続けていたので、じゃあ大学でもやろう、と思ったことがきっかけです。

Q2 部活動に入る際、迷いはありませんでしたか？

自分のレベルが大学生のレベルに通用するのかな、という不安はありました。今では自分に挑戦するという気持ちで臨んでいます。また勉強との両立の心配もしましたが、活動のスケジュールを把握した上で決めました。

Q3 部活動と勉強はどのように両立していますか？

時間のやりくりが難しい面もあります。でも、部活動があるからこそ勉強も頑張れる、という点もあると思います。大変なときもありますが、授業の合間の空いた時間を意識するなど、自分なりに工夫しながら勉強をするようにしていますね。

Q4 大学に入って変わったことはありますか？

高校生のときに比べて、集団の中の自分というものを意識するようになりました。例えば、サークルの中で、友達のなかで、今の自分には何ができるのか、ということを中心に考えて行動しています。大学に入って自分が一つ成長できた部分なのではないかと思っています。

Q5 最後に、大学生活の中で大切ななと思ったことを教えてください。

辛いときに話を聞いてくれる友人です。何でも話せる存在というのは本当に貴重だと思います。僕は部活動を通して交友関係も広がって、仲の良い友人も増えました。授業だけでなく課外活動のなかにも、友人と巡り合う機会はたくさんありますよ。

聞きました!

大学の好きな場所

混雑していない時の  
第二学生食堂

Q1 ダブルホームとはどんなものですか？

いろんな学部や学科、学年の違う学生が集まって「ホーム」というグループをつくり、そのホームごとに決めた地域に行き活動しています。私は「Natural」というホームに所属し、山形県小国町で活動しています。

Q2 ダブルホームを始めようとしたきっかけは何ですか？

1年生の前期に「ソーシャル・スキルズ」という講義を受けたのがきっかけで参加しようと思いました。

Q3 ダブルホームに参加して良かったことはありますか？

訪問した地域の方といろいろな話ができます。今後どのように地域を活性化させていくべきかなど、とても勉強になることが多いです。他にも、普段接する機会がない先生方や職員の方とお話でき、時には、将来のことについて相談することもあります。

Q4 ダブルホームは忙しいというイメージがあるのですが、勉強との両立は大変ですか？

特に意識したことはありません。私にとってダブルホームは「息抜きの場所」と思っています。本当に忙しいときはメンバー同士で助け合っているので、一人で抱え込むということはありません。勉強は空いた時間を利用しています。

Q5 最後に、ダブルホームに興味のある学生に一言お願いします。

ダブルホームは、他学年・他学部の学生と関われるほかにも、訪問している地域の方々や、教職員スタッフのような大人の方たちとお話できる機会があります。興味がある人は、ぜひ参加してほしいですね。

聞きました!

大学の好きな場所

総合教育研究棟の  
学生談話室

新大生の生の声はいかがでしたか? アンケート、持ち物紹介、インタビューから大学生活のさまざまな楽しみ方が見えてくると思います。大学生活は長いようで短いもの。あなたも自分なりにアレンジを加えて、あなただけの新大キャンパスライフを満喫しちゃいましょう!!

新大図鑑は、大学のなかにある気になる場所・モノと、それにまつわるエピソードや歴史を紹介するコーナーです。

今回は、今話題のトキについて研究している「朱鷺・自然再生学研究センター」と、トキの生態について紹介します。このセンターは、佐渡にある大学の施設なんです。新潟大学とトキはとても関係が深いことを知っていましたか?!

各写真提供 / 朱鷺・自然再生学研究センター

## 【朱鷺・自然再生学研究センター】

### 朱鷺・自然再生学研究センターとは

トキとの共生を元にした自然再生と地域づくりを目指し、トキの野生復帰の支援・実現と里地里山が抱える諸問題をさまざまな角度から捉えるべく調査研究を始めたのが「超域朱鷺プロジェクト」である。朱鷺・自然再生学研究センターは、超域朱鷺プロジェクトの活動を通し、生物多様性の保全を核とした自然・地域の再生、すなわち“自然再生”の実践的な教育研究活動に取り組んでいる。トキの野生復帰が取り組まれている佐渡島はいわば“自然再生学”の教室である。センターではこの教室で佐渡市をはじめとする地域の方々とNPOそして他大学・研究機関と協働しながら生物多様性を「創りだし、保つ」「利活用する」「総合的に管理する」ための知識、技術や人材を、研究の成果に基づき育てている。

### 他の学問・分野への影響

自然再生を支援し、トキの野生復帰を成功させるためには最先端の知識・技術が必要とされる。例えばDNA、安定同位体を利用した分

析技術、アドホックネットワーク\*を利用した生物追跡技術とGISを利用した空間解析技術などが挙げられる。さらに、それらの知識・技術と、地域の文化、経済を考慮した合意形成過程を融合していく必要がある。理・工・農学の基礎知識と技術に、関係法令の整備、経済活動の活性化、社会教育の推進などにより地域社会が自然再生を受け入れるための合意形成手続きなどの知識・技術を総合的に発展させる必要がある。

\*アドホックネットワーク…無線LANのようなアクセスポイントを必要としない、無線で接続できる端末(パソコン、PDA、携帯電話など)のみで構成されたネットワーク。

### 今後の展開

最近、放鳥されたトキの番からヒナが誕生し、巣立ちをするに至った。これは重要なことであるが、通過点のひとつである。絶滅したトキを野生復帰させるということは、トキが生息できる里地里山の半自然生態系の機能を、生物多様性保全の視点から持続的に維持管理し保障することを意味している。そのため、様々



センターの事務所風景



今年の春に産まれた8羽のひなのうち2羽

な機関、地域住民と連携を図りながら、  
①トキの野生復帰に関わる生物科学的研究、  
②多面的機能に配慮した里地・里山の自然再生、  
③自然再生を支援する地域社会づくりの3つの枠組みに沿ってこれからもプロジェクトを展開していく。

### 学生に考えてもらいたいこと

私たちは、生活に必要な大気・水・食料や、安全な暮らしを生態系サービスに依存している。そしてその生態系サービスは生態系の構造と機能をつかさどる生物多様性によって支えられている。しかし人間活動がトキなどの野生動物を絶滅させ、生物多様性を低下させているという現実を直視し、これからの持続可能な社会、生活を維持していくための生物多様性の復元、回復する自然再生の必要性を意識してもらいたい。



質問に答えていただいた  
箕口先生  
(自然科学系 農学部 教授 /  
朱鷺・自然再生学研究センター 副センター長)

名 称◎朱鷺・自然再生学研究センター  
設 置 年◎平成22年4月  
場 所◎佐渡市



餌を探し食べるトキ



和 名◎トキ(学名:Nipponia nippon)  
生 息 地◎主に日本、中国

# トキ

### 絶滅、そして保護

以前は中国、ロシアや朝鮮半島、日本の広い地域に生息していた鳥であった。しかし日本では、明治時代に狩猟が一般国民に解禁されたことがきっかけとなり、乱獲が進む。平成15年に最後の日本産のトキが死亡し、現在は中国産のトキの子孫のみとなった。国が主導して野生復帰を進めており、平成20年から放鳥を開始した。

### トキと佐渡島

現在野生復帰が進められている佐渡島は、トキが絶滅以前に生息していた場所である。その理由としては、①潤潤な水田が多く、冬の間も比較的餌に困らない土地であること、②農林業が盛んで開発があまり進んでいなかったことが挙げられる。佐渡島は、トキの生息に適した環境が残っているのである。

### コラム

## 間近で見られるトキがいる!?

トキは、「遠くからしか見られないのでは?」「佐渡に行かないと直接見るできないのでは?」と思っている方に朗報です。なんと旭町キャンパスの旭町学術資料展示館にトキのはく製があるのです!

現在、新潟大学には3体のトキのはく製があり、そのうちの1体が同展示館の標本No.37というオスの成鳥です。このトキは昭和36年五泉市で誤って射殺されたもので、当時、事件性の有無が裁判で争われ、証拠物件として裁判所にありました。その後、事件性が無いと判断されると、新潟大学に移管され、同展示館にて無料で公開展示されています。

他の2体は、医学部で保管されていますが、一般に公開されているのはこの1体のみなのです! 大変貴重な資料なので一見の価値は大いにあります。



標本No.37のトキ

### 旭町学術資料展示館

開 館 時 間 / 水～日曜日(12月29日～1月3日を除く)  
午前10時～午後4時30分

ホームページ / <http://www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/index.html>



今なら資料館を訪れた方にプレゼントされるクリアファイル(どちらかひとつ)

## どんなことを勉強しているのか?

植物や動物について幅広く学び、その後各自研究したい分野で、専門的に研究するそうだ。食品・栄養科学コースの藤井さんは、キノコの香りについて研究し、「より香りがよくおいしいキノコをつくりたい」と語る。分子生命科学コースの仲田さんは酵素の機能について、土壌植物資源科学コースの高田さんは大麦の根の吸収について研究している。

## 印象に残った学生実験について

三人とも口をそろえて「鶏しかない」と一言。「生物学実験」の中で、先輩方が育てた鶏の解剖を見学することがあるそうだ。「さっきまで生きていた鶏が、いつの間にかスーパーで売られている鶏肉になった」と高田さん。「命の大切さを学びました」と藤井さん。「生き物と食べ物の境目がどこにあるという話を聞いて、本当に鶏(生き物)が鶏肉(食べ物)になったときは驚かされた」と仲田さん。考えさせられる実験だったようだ。

## 勉強を通して日々の生活の中で何か変わったことは

仲田さんは「買い物をしていると、手に取った商品の成分表示を見るようになった」、藤井さんも高田さんも同感していた。「食品化学」という講義で学んだ添加物の名前を成分表示の中でみつけると、嬉しくなるそうだ。「それぞれの添加物の意義がわかる」と高田さん。三人とも買い物するとき、入っている成分によって買うかどうかを決めるほど影響を受けたそうだ。

## 学んだことが他の学部とつながっていると感じたことは?

藤井さんは、講義で食品に含まれる栄養の体内でのはたらきについて学び、医学系とのつながりを感じたそうだ。また、「実験中に、装置を使っていると、技術の進歩を感じ、工学系とつながっていると思う」と高田さん。「農学は、様々な学問と関わっており、つながりを感じる。そこがいい」と、農学の魅力について仲田さんは語ってくれた。



実験に使用する菌を培養するための器具

Oxidosqualene cyclase(OSC)という酵素について研究しています。



仲田 知佳さん  
(分子生命科学コース 4年生)

学んでいることが、すごく身近なことにつながっています。



藤井 二精さん  
(食品・栄養科学コース 4年生)

より良いものを、より多くの人に!



高田 雅大さん  
(土壌植物資源科学コース 4年生)

# 農学部 応用生物化学科

農学部応用生物化学科は、微生物・植物・動物など多様な生物の生命現象の解析や、農林畜産物の生産・加工・利用など広範囲の対象に対して、主として化学的方法に基づいて問題解決を図る教育と研究を行っている。4年次で分子生命科学コース、土壌植物資源科学コース、食品・栄養科学コースの3つのコースに分かれ、高度な専門知識や実験技術を習得し、食品・農業・環境など日常生活に関連の深い研究・技術開発などに携わる人材の養成を目指している。約230人の学生が在籍し、卒業後は公務員・製造業を中心に3割~4割が就職し、6割~7割は大学院に進学している。



研究のために培養したキノコの菌糸体

## 卒業後の進路について

三人とも大学院に進みたいとのこと。「研究を通してたくさんの機械・装置を使ったのでぜひその知識をいかしたい」と仲田さん。「学んだことが身近なことにつながり、生物は楽しいと感じました。この楽しさをより多くの人に伝えたい」と藤井さん。「学んだことをいかして、より良いものを消費者に届けたい」と高田さん。三人とも、学科で学んだことを活かし、自分の目標をみだしているようだ。

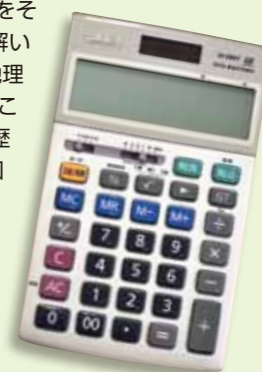
# 経済学部 経済学科

経済学部経済学科では、1年次を中心に経済理論や統計、情報処理などの基礎的科目を学習する。そのうえで、金融や国際貿易、異文化論にいたるまでの多様多様なより専門的な科目を、各人の関心に沿って履修する。これによって現実の経済諸問題を客観的に評価できる能力の習得を目指す。昼間コースの約700人のほか、夜間主コースに約100人の学生が在籍する。卒業後は、大部分の学生が金融保険業や公務員を中心に就職し、就職率は約95%になる。大学院進学者は5%前後である。

## 学んだことが他の学問とつながっていると感じる時は?

「数学との結びつきが強い!」と二人は口をそろえる。数式を用いて経済の理論を読み解いていくという。また、本間さんは「各国の地理や政治について知ると、より理解を深めることができる」と語り、川村さんも「政治や歴史、それぞれの地域の文化や民族性を知ることが大切だと思う」と話した。経済について深く知るためには、様々な視点から物事を捉えることが必要だそうだ。

経済学部では電卓が愛用品!



ニュースが面白くなりました



本間 文武さん  
(3年生)

導いた数式と理論が合っていると嬉しい!



川村 莉加さん  
(3年生)

## どんなことを勉強しているのか?

1年次には経済学の基礎となる入門の授業が多く、2年次から徐々に専門的な講義が増えていく。また経営学科の授業も履修することができ、経済全般について幅広く学ぶことができる。本間さんはロシア経済について勉強しているという。ソ連時代のシステムと新しく作られた仕組みが融合した独自の経済は、学んでいて非常に興味深いそうだ。川村さんは経営学科に属した勉強をするとともに、アジア経済や国際貿易についての講義を履修して幅広く学んでいる。

## 学んでいて面白いことは?

「今、経済がどう動いているのか自分なりに理解できるようになったこと」と本間さん。また、歳を重ねても使えると思われる知識が多く、将来どのように役立てられるのかが楽しみだという。川村さんは「数学の授業で扱う数式が経済の理論と一致するということがあったとき、驚いたし、面白いと思った」と話し、川村さん自身が好きな分野である数学との深いつながりを語った。

## 学んで身についたことは?

「経済紙を読んで、その内容が理解できるようになったこと」と川村さん。難しい用語や歴史的背景について理解できるようになったことで、面白みが増したという。「授業で出てきた内容が日々のニュースに関わっていることもある」という本間さんは、ニュースとなった出来事が起こった理由について考える力もついたそうだ。



ロシア経済について本間さんが使用している参考書。需要と供給などのグラフがたくさん載っている。

## 卒業後の進路について

「経済と経営の分野、どちらについても知っていることが大切だと考えている」と話す川村さん。将来の夢に向けて会計の勉強も進めているそうだ。本間さんは、「経済の知識を活かしつつ、企業の即戦力となる人材になりたい」と力強く語った。二人とも、学んだことを将来につなげるのはもちろん、その上で自分なりの夢を見つけている。

このコーナーは、新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を実際に体験し作成した、チャレンジ魂あふれるレポートである!!  
今回は探検部へGO!! 万年運動不足のスタッフは、クライミングを制することができるのか?!

## 探検部

Report ◀

▶ Interview



見よ!! 驚きのこの高さ!!  
8メートルあり、頂上では下から見上げるよりも高く感じます。



石の色によって難易度が分かれており、同じ色の石だけを使い登っていくルールとなっています。



命綱はほどけないようにしっかりと結びます。八の字に結ぶ「エイトノット」という結び方は基本中の基本!!



人生初体験でビビリ気味。

どんどん登っていきます!  
下を向いたら負けです。



ロープクライミングは基本二人組。信頼関係が大切!!

### スタッフ感想

とにかく体力勝負!!のイメージがありましたが、実際はロープの結び方を覚えたり、どの体勢が登りやすいかを考えたりと、体力以外の面も大切でした!! またクライミング中の部員に「ガンバ!!」と声を掛けながら指導し合うなど、部員同士の強い仲間意識が伝わってきました。



スタッフ評価  
1...まったく 2...少し 3...ふつう 4...かなり 5...はげしく



部長 伊藤翼さん

**Q活動日時、部員構成を教えてください。**  
月・水曜日の17時から部会を行っており、月曜日は部室、水曜日は学生会館です。ラフティングや登山には、土日祝日や長期休みを利用します。部員は約70人、7対3で男子が多いです。

**Qどのような活動をしていますか?**  
「ラフト」というボートに乗って川を下るラフティング、登山、クライミング、ツーリング、洞窟探検があり、自分の希望する活動ができます。万が一の事故に備えて、年に数回、人命救助講習会にも参加します。

**Q大会に出場することはありますか?**  
個人で希望する部員が出場します。なかにはクライミングで国体を目指している部員もいます。昨年は「ラフティングユース世界大会」で総合第6位を受賞しました。

**Q部の雰囲気をお願いします!**  
大会で良い成績を残すために懸命に練習するとき、仲間と一緒にただ自然を楽しむために出かけるときがあり、メリハリを大切にしています。事故などの危険と隣り合わせだからこそ強い仲間意識が生まれ、そのため部員は皆仲良しです!

**Q読者の方にPRをどうぞ!**  
探検という「非日常」を通してできた仲間は特別な存在です。皆さんも僕らの仲間になりませんか?



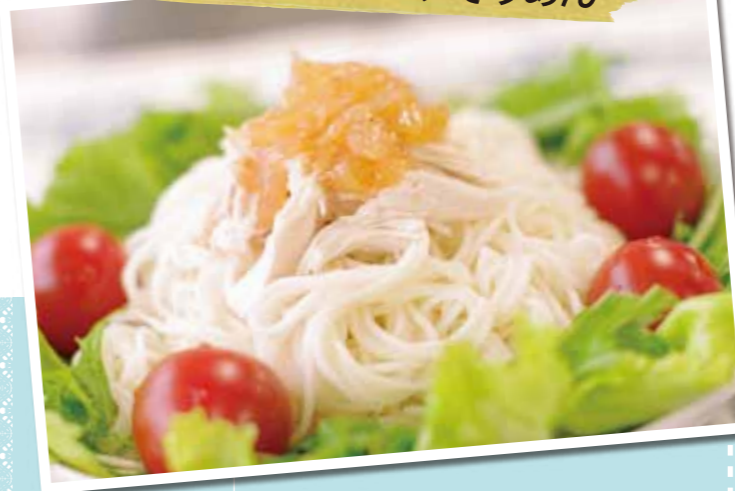
HPアドレス  
<http://nuec.web.fc2.com/>



※delikatesse(独)=美味しいもの

ひとりdeliでは、多忙な毎日を送る新大生へお手軽レシピを紹介し、食に関する悩みを解決しちゃいます♪今回は、電子レンジを活用して、料理をパパッと手間なくつくりましょう! 包丁やまな板も使わないため、洗いの量が少なく済んで後片付けも楽ちんです。

### 鶏ささみサラダそうめん



材料(1人分)

1人分  
218円

- 鶏ささみ ..... 1本 (75円)
- 酒 ..... 小さじ1
- レタス ..... 1/6 (26円)
- 水菜 ..... 少々
- プチトマト ..... 5個 (83円)
- 中華クラゲ(お好みで) ..... 少々
- そうめん ..... 1人分 (34円)
- お好きなつゆ(市販のもの。めんつゆやごまだれなど)

作り方 電子レンジ=500W

- 耐熱皿にラップを広げてささみをのせ、酒をふる。ラップで包んで電子レンジで1分~1分30秒加熱。電子レンジから出してそのまま置いておき、粗熱をとる。  
※加熱後もラップをはずさずにおけば、脂肪の少ないささみもパサつかずしっとり仕上がります
- そうめんを鍋で規定の時間ゆで、流水で洗って冷やし、水気をきる。
- レタスと水菜を手でちぎって皿に盛り、その上に2をのせる。さらに手で粗く裂いた1とプチトマト、お好みで中華クラゲも盛り。
- お好きなつゆをかけて完成!



レシピ監修 教育学部 山口智子先生



新大広報学生編集スタッフ 佐藤君の悩み



one point

電子レンジが楽&速&美味しい料理の助っ人に!  
使い方のポイントをチェックしましょう



●加熱するときは、耐熱ガラスボウルや、絵柄の少ない器を使いましょう。ステンレスやホーローなど金属の容器は、マイクロ波を反射するため温まりません。また、器に金や銀の模様が入っていると火花が飛んで黒ずんでしまいます。漆器や木・竹製品も×。

●生卵を加熱するときは、殻を割るのはもちろん、破裂しないように黄身に箸で穴をあけておきましょう。たらこや魚の皮、皮つきの野菜にも切り目をいれておくと安全です



●野菜は電子レンジで加熱すると、鍋で茹でるより水溶性のビタミンを多く残すことができてヘルシー!

●市販のめん用の電子レンジ調理用品を使えば、今回のレシピのそうめんも鍋を使わず茹でることができ楽ちんです

電子レンジは加熱時間が短く、周囲も熱くならないので暑い夏の調理にもピッタリです♪

今回の編集室便りも盛りだくさんの内容をお届けします!新大生が作りたいもジェンヌ『お菓子めぐりMAP』、部員募集中のサークルを紹介します。さらに新大広報学生編集スタッフのカバンの中にあるお気に入りグッズも公開しちゃいます!



## いもジェンヌ 『お菓子めぐりMAP』とは!?

新大生が制作した『お菓子めぐりMAP』とは一体? このMAPでは、新潟市西区で新しく作られはじめた「いもジェンヌ」という名前のさつまいもを使ったお菓子を販売するお店を紹介しています。制作に関わった学生にインタビューしてきました!



行きたいお菓子屋さんの場所が一目瞭然! なMAP。キュートなイラストとおもしろなお菓子の写真も見ごたえバッチリ! 学生支援課や教育学部の学務課など各所に置いてあります。ぜひ手にとって。

### Interview

この『お菓子めぐりMAP』を作ったのは6人の新大生! 教育学部生活科学課程3年の石本望さん、太田せりなさん、窪田真衣さん、高柳明理さん、又川菜彩さん、吉川純江さんです。

いもジェンヌを使って大学生にも支持されるお菓子を作ろう、という取り組みの一環で、MAPを作成されました。その感想をうかがってみると、「地域の方々と交流できて良かった。」「地域の活性化につながれば!」という話も聞け、やる気につながった!」と皆さん。それぞれのお店では、お菓子に対するこだわりや商品になるまでの苦労話といったエピソードを取材しました。MAPに載っている、お菓子の風味や食感などのレポートは、このとき試食して書かれたもの。どれもおいしそうです♡

初体験のMAP作りは苦労の連続だったとか。地図とお菓子の紹介を同時に載せるため、見やすくするための配置や色合いの調整には悩まれたとのことでした。印刷すると文字や写真の印象が変わってしまうため、そのギャップにもとまどったそう。

さて、そんな試行錯誤の末に完成したMAPを見ると、新潟大学に近い内野駅の周りにも、菓子店が4店集まっています。気軽に立ち寄りそう。「値段もお手ごろで買いやすいです。ぜひ食べてみて!」スイーツに目のないあなた、MAP片手に町をめぐってみてはいかがでしょう?

▶イラストは全て吉川さんが担当にちらは「ジェンヌちゃん」



## いきものサークル ふかみどり

今回は、新潟大学の数あるサークルの中でも生き物をテーマに活動している興味深いサークル「ふかみどり」をご紹介します!メンバーの下山孝暁さんにお話を伺いました。

「いきものサークル」と聞いてピンとくる方は少ないのではないのでしょうか?今回はそんな「いきものサークルふかみどり」について紹介していきたいです。

「ふかみどり」の活動は多岐にわたります。そのため、本格的にサークル活動をしたい方も、自然や生き物が好きという方も楽しんでもらえると思います。具体的には、「昆虫採集」「バードウォッチング」「釣り」「山登り」「植物観察」などなど…。すべての活動に強制的に参加しなければいけないわけではなく、自分の興味をもった活動を選んで参加することができます。

他にも様々な活動を行っていますので興味のある方は、ぜひ活動に参加してみてください。連絡先など詳しい情報がほしい人は、下記のHPを参照してください。



「いきものサークル ふかみどり」サークルHP <http://fkmdr.blog109.fc2.com/>



### 関数電卓

物理や化学のレポートを書くためには必須です! ほぼ毎日持ち歩いています。関数電卓はたいてい黒くてごつくて、可愛いのが少ないので、これを見つけるのには苦労しました。

### クリアファイル

最近ハマっている「ゆるアニマル」のもので。付箋やシールも集めています♪(石山)



### デジカメ

大学生活での思い出を写し込むならやっぱりデジカメ!! (佐藤優)

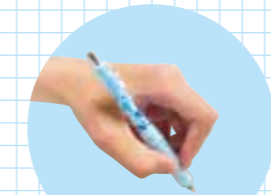


## 編集スタッフのお気に入り

特集記事でさまざまな学生の持ち物を紹介しましたが、新大広報学生編集スタッフのカバンからは何が飛び出すのでしょうか? お気に入りグッズを公開しちゃいます!

### 本

カバンの中には、ほぼ日替わりでさまざまなジャンルの小説が入っています。写真は2冊ともSFですが、最近ではホラーや歴史モノにもめり込んでいます。(高野)



### シャープペンシル

あらゆるテストを共に乗り越えてきたおともです。(佐藤俊)

### クリアファイル

1年生の頃からの愛用品。丈夫なので長持ちしています。

### スケジュール帳

中のシステム、デザイン、ともに気に入っています。いつも一緒に行動していて、もう手放せません!(山口)

